



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 三栄コーポレーション
コード番号 8119 URL <http://www.sanyeicorp.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林敬幸
問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 小平敏之 TEL 03-3847-3500
四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日 配当支払開始予定日 平成27年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|-------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年3月期第2四半期 | 24,015 | 19.3 | 1,124 | 753.1 | 1,212 | 582.8 | 828 | — |
| 27年3月期第2四半期 | 20,132 | 7.6 | 131 | 6.2 | 177 | 23.6 | 64 | △86.2 |

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 971百万円 (252.2%) 27年3月期第2四半期 275百万円 (△63.8%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-------------|------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 350.88 | 341.87 |
| 27年3月期第2四半期 | 27.68 | 26.93 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 28年3月期第2四半期 | 21,083 | 10,931 | 51.3 | 4,568.37 |
| 27年3月期 | 20,721 | 10,055 | 48.0 | 4,228.60 |

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 10,818百万円 27年3月期 9,936百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期 | — | 40.00 | — | 50.00 | 90.00 |
| 28年3月期 | — | 50.00 | — | — | — |
| 28年3月期（予想） | — | — | — | 50.00 | 100.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|-------|-------|-------|------|---------------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 48,000 | 8.0 | 2,000 | 156.3 | 2,000 | 96.3 | 1,400 | 141.1 | 591.20 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社（社名）、除外一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 28年3月期2Q | 2,552,946株 | 27年3月期 | 2,552,946株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年3月期2Q | 184,898株 | 27年3月期 | 203,052株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 28年3月期2Q | 2,361,604株 | 27年3月期2Q | 2,347,598株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費には依然として力強さが欠けているものの、企業業績の回復を背景として、緩やかな景気回復局面を辿っていました。しかしながら、中国経済の急減速による市場の混乱を受けて、世界経済には先行き不透明感が高まってきており、わが国経済についても、景気の踊り場から後退局面入りするとの懸念が高まってきています。

こうした状況下、当第2四半期連結累計期間の連結売上高につきましては、全ての報告セグメントで売上高が順調に積み上がり、前年同期比19.3%増加の240億1千5百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加に加えて、売上総利益率が改善したことから、売上総利益は同12億2百万円増加した61億6千6百万円となりました。販管費については、実額では同2億9百万円の増加となったものの、販管費比率が同3.0%ポイント減少したことを受けて、営業利益は同9億9千2百万円増加の11億2千4百万円となりました。また、経常利益についても、同10億3千5百万円増加の12億1千2百万円となりました。この結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は同7億6千3百万円増加した8億2千8百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

(家具・家庭用品事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比19.3%増加の120億1百万円となりました。国内向けのOEM事業では、新たに取りを開始した顧客を含む専門店向けのリビング家具の売り上げが好調に推移しました。また、海外向けOEM事業においては、米国向けキッチン・クッキング用品の売り上げも順調に積み上がりました。一方、ブランド事業では、独「WMF」「Silite」ブランド製品等を扱うヴェーエムエフジャパンコンシューマーズ㈱の売り上げは小幅な増加に留まりました。

セグメント利益については、売上高の増加に加えて販売費の減少もあり、前年同期の1億1千万円の赤字から4億5千1百万円改善した3億4千万円となりました。

(服飾雑貨事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比26.8%増加の76億4千4百万円となりました。OEM事業では、国内専門店向けのトラベル商材の売り上げが引き続き順調に積み上がりました。ブランド事業においては、ドイツ製コンフォートシューズ「ビルケンシュトック」の売り上げが大きく増加したほか、ベルギー発祥のファッションバッグブランドの「キプリング」事業を営む販売子会社㈱L&Sコーポレーションも売り上げを伸ばしました。

セグメント利益については、売上高の増加を主因に、前年同期比4億3千8百万円増加した7億6千3百万円となりました。

(家電事業)

当報告セグメントの売上高は、前年同期比15.4%増加の28億7千8百万円となりました。OEM事業では、小物生活家電の売り上げが国内向け海外向けともに堅調に積み上がりました。なお、三發電器製造廠有限公司の売上高は、連結調整前では昨年と同水準となっております。ブランド事業においては、㈱mhエンタープライズの売り上げが前年同期比、小幅な増加に留まりました。

セグメント利益については、売上高の増加を主因に、前年同期比1億3千1百万円増加した2億2百万円となりました。

なお、平成27年9月29日付にて開示いたしました「当社連結子会社の火災事故発生のお知らせ」に関する本日までの経過につきましては、本日付で別途開示しております「当社連結子会社の火災事故発生経過に関するお知らせ」をご参照ください。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億6千1百万円増加の210億8千3百万円となりました。

主な資産の変動は、「現金及び預金」「商品及び製品」がそれぞれ3億7千9百万円、1億1百万円減少した一方、「受取手形及び売掛金」「投資有価証券」がそれぞれ4億7百万円、5億2千2百万円増加しております。

主な負債の変動は、「支払手形及び買掛金」が2億1千9百万円増加した一方、「短期借入金」が10億8千5百万円減少しております。

主な純資産の変動は、「その他有価証券評価差額金」が3億2千7百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は51.3%、1株当たり純資産は4,568円37銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成27年7月31日付「平成28年3月期第1四半期決算短信」にて発表いたしました平成28年3月期の業績予想（連結・個別）を修正しております。

詳細につきましては、本日付で別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却費の算定方法は、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法としております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略して前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③ 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,032,740 | 1,653,413 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,074,884 | 6,482,835 |
| 有価証券 | 10,829 | - |
| 商品及び製品 | 5,656,674 | 5,555,164 |
| 仕掛品 | 84,809 | 78,122 |
| 原材料及び貯蔵品 | 123,195 | 164,734 |
| 繰延税金資産 | 107,433 | 169,245 |
| 前渡金 | 180,350 | 208,836 |
| 前払費用 | 119,386 | 107,375 |
| 短期貸付金 | 478 | 1,034 |
| その他 | 731,575 | 287,836 |
| 貸倒引当金 | △6,442 | △8,566 |
| 流動資産合計 | 15,115,912 | 14,700,031 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 1,328,697 | 1,333,772 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 141,217 | 172,574 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 136,618 | 151,493 |
| 土地 | 814,683 | 814,683 |
| リース資産(純額) | 31,646 | 27,626 |
| 建設仮勘定 | 44,106 | 61,416 |
| 有形固定資産合計 | 2,496,971 | 2,561,567 |
| 無形固定資産 | | |
| 無形固定資産合計 | 361,597 | 348,712 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,190,228 | 2,713,005 |
| 長期貸付金 | 15,071 | 14,796 |
| 繰延税金資産 | 34,965 | 35,644 |
| 破産更生債権等 | 844 | 844 |
| その他 | 556,052 | 755,484 |
| 貸倒引当金 | △50,041 | △46,769 |
| 投資その他の資産合計 | 2,747,121 | 3,473,006 |
| 固定資産合計 | 5,605,689 | 6,383,285 |
| 資産合計 | 20,721,602 | 21,083,317 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成27年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,571,420 | 1,791,163 |
| 短期借入金 | 4,607,908 | 3,521,991 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | — | 200,000 |
| リース債務 | 8,442 | 8,442 |
| 未払法人税等 | 128,257 | 343,292 |
| 繰延税金負債 | 5,158 | — |
| 賞与引当金 | 338,870 | 296,767 |
| 役員賞与引当金 | 24,929 | 12,951 |
| 未払金 | 1,241,238 | 1,132,143 |
| 未払費用 | 373,812 | 367,926 |
| 未払消費税等 | 52,243 | 92,177 |
| その他 | 396,878 | 511,523 |
| 流動負債合計 | 8,749,156 | 8,278,379 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 1,200,000 | 1,000,000 |
| リース債務 | 24,786 | 20,565 |
| 繰延税金負債 | 361,127 | 524,051 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 73,993 | 73,993 |
| 退職給付に係る負債 | 166,748 | 161,055 |
| 役員退職慰労引当金 | 26,120 | 28,846 |
| 資産除去債務 | 54,944 | 55,267 |
| その他 | 9,600 | 9,600 |
| 固定負債合計 | 1,917,322 | 1,873,379 |
| 負債合計 | 10,666,479 | 10,151,759 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,000,914 | 1,000,914 |
| 資本剰余金 | 647,693 | 652,344 |
| 利益剰余金 | 7,319,072 | 8,030,229 |
| 自己株式 | △266,132 | △242,426 |
| 株主資本合計 | 8,701,548 | 9,441,062 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 861,012 | 1,188,858 |
| 繰延ヘッジ損益 | 195,411 | △21,219 |
| 土地再評価差額金 | 71,581 | 71,581 |
| 為替換算調整勘定 | 107,218 | 137,844 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,235,225 | 1,377,065 |
| 新株予約権 | 104,686 | 98,340 |
| 非支配株主持分 | 13,663 | 15,089 |
| 純資産合計 | 10,055,123 | 10,931,557 |
| 負債純資産合計 | 20,721,602 | 21,083,317 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 20,132,865 | 24,015,966 |
| 売上原価 | 15,167,940 | 17,849,014 |
| 売上総利益 | 4,964,924 | 6,166,951 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 1,109,006 | 1,122,167 |
| 一般管理費 | 3,724,137 | 3,920,537 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,833,144 | 5,042,705 |
| 営業利益 | 131,780 | 1,124,245 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,246 | 5,599 |
| 受取配当金 | 15,971 | 22,686 |
| 為替差益 | 37,584 | 81,469 |
| その他 | 14,675 | 12,113 |
| 営業外収益合計 | 72,478 | 121,868 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 25,454 | 29,459 |
| デリバティブ評価損 | — | 2,800 |
| その他 | 1,178 | 1,066 |
| 営業外費用合計 | 26,633 | 33,326 |
| 経常利益 | 177,626 | 1,212,788 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 187 | 1,168 |
| 特別利益合計 | 187 | 1,168 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7,831 | 2,125 |
| 減損損失 | 73 | — |
| その他 | 1,059 | 2,674 |
| 特別損失合計 | 8,964 | 4,800 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 168,849 | 1,209,156 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 128,061 | 348,310 |
| 法人税等調整額 | △26,052 | 30,769 |
| 法人税等合計 | 102,009 | 379,079 |
| 四半期純利益 | 66,840 | 830,076 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 1,863 | 1,425 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 64,977 | 828,651 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 66,840 | 830,076 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 194,728 | 327,845 |
| 繰延ヘッジ損益 | 75,044 | △216,631 |
| 為替換算調整勘定 | △60,640 | 30,625 |
| その他の包括利益合計 | 209,132 | 141,840 |
| 四半期包括利益 | 275,972 | 971,917 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 274,109 | 970,492 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 1,863 | 1,425 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 168,849 | 1,209,156 |
| 減価償却費 | 165,465 | 149,588 |
| 減損損失 | 73 | — |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 5,198 | △1,210 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △52,094 | △43,514 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | △3,183 | △3,248 |
| のれん償却額 | 15,088 | 1,251 |
| 受取利息及び受取配当金 | △20,218 | △28,285 |
| 支払利息 | 25,454 | 29,459 |
| 固定資産除却損 | 7,831 | 2,125 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △187 | △1,168 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △124 |
| 関係会社株式売却損益 (△は益) | 203 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △249,312 | △348,588 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △855,084 | 75,409 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 405,776 | 164,731 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △75,768 | 80,907 |
| その他 | 215,631 | 82,690 |
| 小計 | △246,277 | 1,369,180 |
| 利息及び配当金の受取額 | 20,218 | 28,285 |
| 利息の支払額 | △25,079 | △29,314 |
| 法人税等の支払額 | △270,884 | △135,092 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △522,023 | 1,233,059 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △70,565 | △232,090 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 439 | 1,703 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △6,612 | △15,582 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △7,628 | △198,294 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 10,000 |
| 貸付けによる支出 | — | △1,403 |
| 貸付金の回収による収入 | 1,309 | 1,122 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 1,565 | — |
| その他 | △10,929 | 11,583 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △92,422 | △422,961 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | 457,450 | △1,084,751 |
| 長期借入れによる収入 | 1,000,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,000,000 | — |
| 自己株式の取得による支出 | △176 | △138 |
| 自己株式の売却による収入 | 2 | 18 |
| 配当金の支払額 | △93,841 | △117,494 |
| その他 | △4,545 | △4,221 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 358,888 | △1,206,587 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △31,814 | 17,163 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △287,371 | △379,326 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,006,219 | 2,032,740 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | △24,878 | — |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,693,969 | 1,653,413 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 家具・家庭用 品事業 | 服飾雑貨 事業 | 家電事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 10,056,513 | 6,026,964 | 2,495,257 | 18,578,734 | 1,554,130 | 20,132,865 | — | 20,132,865 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 13,546 | 9,451 | 5,675 | 28,673 | 54,914 | 83,588 | △83,588 | — |
| 計 | 10,070,059 | 6,036,416 | 2,500,932 | 18,607,408 | 1,609,045 | 20,216,453 | △83,588 | 20,132,865 |
| セグメント利益又は 損失(△) | △110,867 | 325,067 | 70,318 | 284,518 | △17,165 | 267,352 | △135,571 | 131,780 |

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,571千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|---------------|------------|-----------|------------|--------------|------------|--------------|--------------------------------|
| | 家具・家庭用 品事業 | 服飾雑貨 事業 | 家電事業 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 12,001,685 | 7,644,692 | 2,878,561 | 22,524,939 | 1,491,026 | 24,015,966 | — | 24,015,966 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 6,503 | 2,267 | 5,814 | 14,585 | 29,746 | 44,332 | △44,332 | — |
| 計 | 12,008,189 | 7,646,960 | 2,884,375 | 22,539,525 | 1,520,773 | 24,060,298 | △44,332 | 24,015,966 |
| セグメント利益又は 損失(△) | 340,140 | 763,552 | 202,014 | 1,305,706 | △1,652 | 1,304,053 | △179,808 | 1,124,245 |

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業で商量の少ない商品を取り扱っているセグメントおよび当社グループ向けサービス業等であり、取扱商品としてはペット関連、輸送資材等を含んでおります。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,808千円は全社費用であります。全社費用は、各報告セグメントに帰属しない当社における管理部門に係る費用であります。
- 3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。